

平成 27 年 度 学 校 目 標

学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評価の観点
I 生徒の潜在的な力を最大限伸ばすために、新教育課程の円滑な推進を図り、生徒一人ひとりの個性・適性・能力・環境に対応した教育活動を展開する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語・数学の小集団、習熟度別授業を充実させ基礎学力の定着のみならず、発展的・応用的な学習への支援を充実する。 2 総合的な学習の時間の内容を精査し、地域の伝統文化を理解し大切にすることを養う。 3 生徒の現状を踏まえながら新教育課程の課題解決に向けて検討を重ねる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 小集団・習熟度学習を実施することで、参加意識の向上が図れたか。基礎基本の定着ならびに発展的・応用的な学習支援が実践できたか。朝読書や教科指導等を通して「読解力」の育成を図れたか。 2 外部教育力等を積極的に活用する機会を設定できたか。 3 新教育課程が生徒の現状と進路希望に適合しているか。
II 生徒の諸活動を適切に支援しながら、自他ともに認め合う心を育成し、豊かな人間性の形成を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 1 補習・講習等に学校組織として取り組む。 2 進路相談日の効果的な活用を目指す。 3 課題を抱える生徒や支援が必要な生徒に対する情報を共有し、組織的な教育相談体制の充実を図る。 4 教育相談コーディネーターを中心としたケース会議の実施等により、学習環境を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 長期休業中の補習・講習等を活用できたか。 2 進路相談日を活用して生徒の多様な進路希望に学校全体で対応できたか。 3 情報提供は時期、内容などが適切だったか。生徒の相談に適切に応えられたか。保護者との連絡を密に行うなど、生徒の個別事情を把握して指導できたか。 4 ケース会議等を通して学校全体として教育相談体制の充実が図れたか。
III 生徒一人ひとりの興味・関心・意欲を大切にし、より高い目標に向け努力する姿勢を育み、確かな学力向上の推進を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が学習に主体的・意欲的に取り組み、家庭学習の習慣化を念頭においた授業展開の改善と工夫を図る。 2 生徒による授業評価や学習状況調査を踏まえ、授業改善にむけた校内研究授業体制の整備と拡充に努める。 3 生徒一人ひとりの多様性を尊重した授業展開を工夫し、効果的な小集団、習熟度別授業の推進を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人ひとりが主体的に考え積極的に学習に取り組む姿勢を身につけることができたか。生徒一人ひとりの学びと成長のために、自習室の効果的な活用を含め、家庭学習と一体化した授業改善・工夫がなされたか。 2 授業評価等の分析を生かし、授業改善につなげることができたか。校内研究授業の充実を推進できたか。 3 生徒の理解度に応じた効果的な授業展開がなされたか。

<p>IV 勤労観・職業観を育成し、規範意識の涵養を推進するとともに、自らの進路を選択し、社会の一員として自立するための実践的な能力を支援する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 就労体験等を通して、勤労観や職業観を涵養し、社会に貢献する態度を育成する。 2 進路相談等様々な働きかけを行うことにより、自らの進路を選択する能力を育成する。 3 外部教育力を活用し、生徒一人ひとりの進路希望に対応して、適切な進路指導を提供する。 4 生徒の主体的な活動を支え、特別活動の活性化を図り、コミュニケーション能力を育成する。 5 責任ある行動力と公正な判断力を育み、基本的な生活習慣と規範意識の涵養を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターンシップや看護体験を通して、生徒が将来の職業について主体的に探索する活動を支援することができたか。 2 生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かい指導を実践し、個々の資質・能力に応じた進路選択ができたか。 3 キャリア教育実践プログラムを計画的に実践できたか。講演会等のあり方を見直しながら効果的な指導が実現できたか。 4 自分の考えを的確に伝え、他人の考えや気持ちを受け止めるコミュニケーションスキルの育成を図ったか。 5 「あいさつ」の励行や「遅刻をしない」などの社会生活をおくる上で必要な基本的な生活習慣の確立に努めたか。交通ルール・マナーの遵守など規範意識の涵養に努めたか。
<p>V 家庭・地域・関係機関との連携を一層深め、地域の持つ伝統と文化を理解しつつ、地域へ貢献する「地域とともに歩む」学校づくりを推進する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新規事業の導入によりPTA活動の一層の活性化を図るとともに、家庭・地域・関係機関との連携を深める。 2 地域貢献活動等を通じて、「地域とともに歩む」学校づくりを推進する。 3 学校行事や地域の行事等を通して生徒同士の交流及び地域との連携を図る。 4 中学生やその保護者、地域・関係機関への情報発信に努め、よりよい学校作りを目指す。 5 近隣の幼稚園・小・中学校や特別支援学校等との教育交流を通して、ボランティア活動等に対する積極的な取組への意識の啓発を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 スケアードストレイトによる交通安全教室や業者による自転車点検等により、PTA活動の一層の活性化を図るとともに、家庭・地域・関係機関との連携を深めることができたか。 2 地域貢献活動等を通じて、「地域とともに歩む」学校づくりを推進できたか。 3 外部諸機関と連携し、相互交流を図ったか。また、地域行事に積極的に参加したか。 4 説明会、ホームページや情報紙を通して、適切に情報を発信することができたか。説明会においては実施時期、方法等の改善、工夫を行ったか。 5 異校種間交流に積極的に取り組み、成果をあげることができたか。ボランティア活動への参加が増えたか。
<p>VI 全職員が安全に配慮した学校運営・学校管理の改善に向けた具体的課題を共有し、各々がその解決に積極的に取り組む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校評価システムを活用し、業務の見直しと効率化を図る。 2 地域・関係機関との連携を図りながら防災対策を推進する。 3 学習環境の整備に努める。 4 職員相互のコミュニケーションを密にして、風通しの良い学校運営に努め、職員が前向きに職務に取り組み、課題解決を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 業務を見直し、効率的な学校運営ができたか。 2 地域・関係機関と連携した防災訓練を実施したか。生徒の安全を守るために、より効果的な訓練を実施することができたか。 3 学習環境の整備に努めたか。 4 職員が前向きに職務に取り組み、課題解決に努めたか。
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など 「一人ひとりを大切に」・・・生徒の基礎学力の向上と、充実した進路指導のもとに、将来を展望した進路の保障を目指します。 「きびしく、かつあたたかく」・・・礼節を重んじ、規律を遵守し、人間性豊かな社会人を育成します。 「地域に学び、未来へ羽ばたけ」・・・高い知性と教養を身につけた、郷土の文化と伝統を担う、社会に貢献する人材を育成します。</p>		